



世界結核デー(3/24)直前！！

ハイチの結核最新事情と結核対策の最新技術

3月16日(水) 13:30-14:00

於 厚生労働記者会

- ① 世界結核デー スローガン
- ② 震災後一年、復旧が進まないハイチの結核対策。
(外務省開発協力事業：STBJ チームの現地調査から)
- ③ 結核と糖尿病の関係にもっと注意を！ WHO の専門家チームが呼びかけ。
- ④ 結核対策の最新技術
(結核 4 ヶ月標準治療に向けた世界の動き)
- ⑤ 第 62 回 結核予防全国大会

趣 旨

結核は、エイズ、マラリアと並ぶ世界 3 大感染症の一つです。そして依然として国内最大級の感染症であり、注意の必要な現代の病気です。世界結核デー(3月24日)が直前に迫りました。世界結核デーは、コッホが結核菌を発見し学会に発表をした日です。結核制圧の誓いを新たに、考える日、世界各国に対策の強化を呼び掛ける日として、WHO が制定し、毎年世界中でイベント等が開催されています。

今回の記者発表では、震災から1年が経過し、結核をはじめとする感染症などの問題を抱えるハイチの現地最新状況、WHO からの注意よびかけを 森 亨公益財団法人結核予防会結核研究所名誉所長より報告致します。また、同研究所主任研究員 土井 教生より結核対策の最新技術として、「結核4カ月標準治療に向けた世界の動き」をご説明致します。そして世界結核デーに開催される都道府県および公益財団法人結核予防会の共催による「結核予防全国大会」開催のお知らせを藤木武義公益財団法人結核予防会事業部長より致します。

連絡先

特定非営利活動法人ストップ結核パートナーシップ日本

TEL 03-5282-3010/FAX 03-5980-8267 (担当)宮本